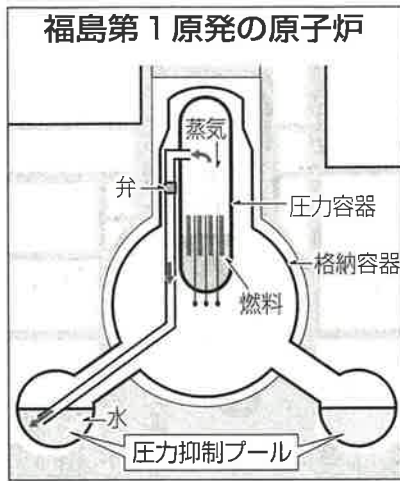
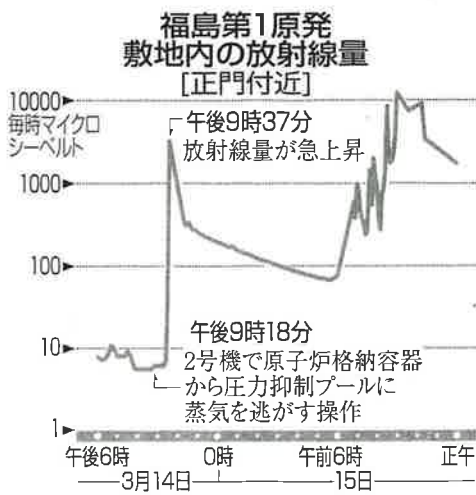


# 福島2号機揺れで損傷か

## 震災4日目 外部で線量急増 蒸気操作

専門家解析



東京電力福島第1原 門家がまとめた。  
 発2号機で、原子炉格 東電は、地震による  
 納容器下部の圧力抑制 原子炉の明らかな損傷  
 プールが地震の揺れで はなく、津波による電  
 早期に損傷したか、劣 源喪失が事故原因との  
 化した可能性が高いと 立場。揺れで損傷して  
 する解析結果を19日ま いれば、福島第1と同  
 でに、原子力安全の専 様に従来の耐震基準が

適用されている他の原 田辺文也所長。  
 発への影響も必至だ。 田辺氏によると、福  
 東電や政府の事故調査 島第1原発では地震3  
 ・検証委員会の調査結 日後の3月14日午後9  
 果が注目される。 時半すぎ、原発敷地境  
 解析したのは日本原 界の放射線量が急上昇  
 子力研究開発機構の元 した。2号機では直前  
 研究者で、社会技術シ の同9時18分、圧力が  
 ステム安全研究所(茨 高くなった原子炉圧力  
 城県ひたちなか市)の 容器から放射性物質を

含む蒸気を圧力抑制プ ールに逃がす操作をし  
 ていた。この前後に他  
 号機では放射性物質放  
 出につながる出来事や  
 操作は見当たらなかつ  
 た。

2号機は当初、津波 による電源喪失で溶け  
 落ちた燃料が格納容器  
 に達し、15日朝、その  
 熱と圧力によって圧力  
 抑制プールが破損した  
 と考えられていた。し  
 かし、それに先立つ14  
 日の夜、圧力容器から

蒸気を抜くという想定  
 内の作業をしただけで  
 周辺の放射線量が高ま  
 ったことは、早い段階  
 で既に同プールに損傷  
 があつた可能性をうか  
 がわせる。

田辺氏は「圧力抑制  
 プールには接合部や保  
 守点検で人が入るため

## 他原発安全基準影響も

東京電力福 傷が疑われたのは、原  
 島第1原発事 子炉格納容器と一体化  
 故で、地震の揺れが安 して閉じ込め機能を担  
 全上重要な機器に損傷 う圧力抑制プール。こ  
 を与えたかどうかをは こに高圧の蒸気を送り  
 つきりさせるには、廃 込まれた直後に、周辺  
 炉の過程で実物を調べ られた放射線量が急上昇  
 るしかないが、専門家 したことが示された。原  
 が一定の根拠をもって 子炉のさまざまな設  
 疑いを指摘しているこ 備、機器は複雑な構造  
 とは重要だ。津波以外 をしている上、壁を貫  
 にも事故原因が浮上す 通する部分も多い。ど  
 れば、他の原発を動か のような揺れに影響を  
 しているかどうかの判 受けるかを調べ尽くす  
 断にも大きく影響する のは容易ではない。だ  
 からだ。 からは、壊れた可能  
 今回の解析結果で損 性は最大限に考える必  
 要がある。 要がある。  
 この20年ほど、日本  
 の原発の安全対策は欧  
 米に大きく遅れたとい  
 われる。さらに、欧米  
 ではまれな地震多発  
 地帯での立地を考えれ  
 ば、東電や経済産業  
 省原子力安全・保安  
 院が地震による損傷を  
 否定する姿勢は理解  
 できない。安全に対し  
 て後ろ向きと言われ  
 も仕方ない態度で、  
 より安全側に立った  
 徹底的な解析が望まれ  
 る。

沸騰水型の原子炉  
 で、原子炉格納容器の下  
 部につながるドーナツ形  
 のプール。常時大量の水  
 をためておき、事故で格  
 納容器内に蒸気がたまっ  
 った場合、蒸気をプール  
 の水に吹き込んで水に戻  
 し、圧力を下げる。ため  
 た水は、事故時に原子炉  
 を冷やす緊急炉心冷却装  
 置(ECCS)の水源に  
 もなっている。